

その時イエスが来られ召された
テュアレ カリフォルニア州 アメリカ合衆国
1964年02月13日

1 ヨハネによる福音書第11章18節から、読みたいと思います。

ベタニヤはエルサレムに近く、二十五丁ばかり離れたところにあった。

大ぜいのユダヤ人が、その兄弟のことで、マルタとマリヤとを慰めようとしてきていた。

マルタはイエスがこられたと聞いて、出迎えに行ったが、マリヤは家ですわっていた。

マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。

しかし、あなたがどんなことをお願いになっても、神はかなえて下さることを、わたしは今でも存じています」。

イエスはマルタに言われた、「あなたの兄弟はよみがえるであろう」。

マルタは言った、「終りの日のよみがえりの時よみがえることは、存じています」。

イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。

マルタはイエスに言った、「主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております」。マルタはこう言ってから、帰って姉妹のマリヤを呼び、「先生がおいでになって、あなたを呼んでおられます」と小声で言った。

2 祈りましょう。

天のお父様、私たちが今あなたを待っている今夜、私たちの心にそれらの言葉を確認してください。あなたの言葉、あなたのしもべ、そしてテキストはすべてあなたに託されています。イエス・キリストの名において。アーメン。どうぞおかけください。

3 ここにいる私の目的は、神の民を助けようとする事です。祈るだけでなく、病人に手を置くことではなく、彼らが私たちの真っ只中にいるイエス・キリスト、私たちの真ん中にある神の御子を認めるようにすることです。私たちは今夜、このテーマについて話します、「その時、イエスはこられ、召された」。

さて、私たちが話しているこの時期は、とても悲しい時期でした。あなたが私たちの主の人生の物語を読んだことがあるなら、私たちは彼がこの少年ラザロの素晴らしい友達であったことがわかります。彼は...ヨセフが去った後...または彼は去り、マルタ、マリア、ラザロと一緒に住んでいました。そして彼らは素晴らしい友達でした。彼は彼らにとって牧師のようで、本当の友達でした。彼らは彼に着る小さなものを作ったのです一着るコートだと彼らは主張していると思います。そして、それは継ぎ目なしで全体に織り込まれていました。そして、彼らは彼を信じていたので、彼のために何かをしました。それは...彼らは信じていて、それを見ました...彼らは彼に従うために教会などを去りました。

それはその日の素晴らしいことでした、そのペナルティでさえそれから離れることは死であるかもしれませんが。

5 しかし、イエス...彼らが主張したように、彼らの教会を引き裂き、彼らの司祭について悪いことを言っているなど、周りを回っていたこの仲間は、彼らに大きな害を及ぼしたと彼らは考えました。そして、彼を告白することさえ、会堂から追い出されることだったでしょう。

そして、あなたが教会から出ている場合、彼らはあなたが贖いの機会がないと思っていました。パリサイ人、サドカイ人など、彼らの宗派のいずれにも属していない場合、その外にいれば贖いはありませんでした。そして、もし彼らが権利と鍵を持っていて、彼らが望むなら彼らがあなたを追い出すことができれば、それは彼ら自身のものでした。イエスが「あなたは、あなた方の言い伝えによって、神の言葉を無意味にした」と言ったのも不思議ではありません。

6 そして、それは再び繰り返されます。なぜなら、歴史は頻繁に繰り返されることを私たちは皆知っているからです。そして、言うのは悲しいことですが、繰り返すことは予言されていました、そしてそれは再びそれをしました。イエスはよく考えられていなかったことがわかります。

多くの場合、人々は彼らに同意しない人を判断したいと思います。私たちはそれをするつもりはありません。私たちはお互いに意見を異にすることができますが、それでも友好的です。もし私がお互いに反対できず、それでも彼を愛し、彼のために祈り、そして聖句に基づいて、そしてより良い悟りのために彼に反対することができなければ、私は彼に何も言いません。私は彼を愛しているので、私はいつも彼に友好的に反対したいです。そして、私は確かに彼が失われることを望んでいません。そして、彼は私と同じことをする必要があります。迷子になりたくない。私たちはみことばの言うことに基づいて考えなければなりません。それがみことば、真実です。私たちの信条ではなく、私たちの考えではなく、彼が言われたことです。自分勝手に解釈するものはないのである。みことばが言うことだけなのです。

7 先日の夜、私が何かをしたとき、それはほとんど生意気なようでした。先日の朝、私はミニスター達の朝食にいたと思います。私はイエスを裁判にかけました。私は「彼らが当時と同じように、今日もそうしている」と言いました。時間があれば、ちょっとだけ繰り返してみるといいかもしれません。さて、私は言いました。「今日、ルターの改革の中で、彼は...その時に、彼は言いました。『義人は信仰によって生きるでしょう。信じる人たち、それでいいのです。』しかし、彼らの多くが信じていると言っていたが、持っていなかったことがわかりました。」

ジョン・ウェスリーの時代、彼らが第二の祝福(彼らはそれを呼んだ)、聖化、完全な聖化を得たならば、彼らは幸せになり、叫びました。誰もがそれを持っていると叫んだ。しかし、彼らはそれを持っていないことに気づきました。彼らの多くは叫びました、そしてそれを持っていませんでした。

ペンテコステの時代、彼らは言いました、「今、賜物の回復が来ました、御霊のバプテスマ。異言で話す彼はそれを持っています。」調べてください、多くの人が異言で話しましたが、それを持っていませんでした。

8 それで彼らは「まあ、御霊の実、それがそれである」と言います。ああ、いや、御霊の実ではありません。クリスチャンサイエンスにはそれがありますが、ほとんどありません。愛—それは御霊の実です。そして、彼らは誰よりも多くの愛を持っており、イエス・キリストの神を否定しています。ただ彼を預言者、ただの普通の人と呼んでください。だからそれはしません。ちょっと質問させてください。

イエスを裁判にかけましょう。神は説教壇からのこの声明について私を許してください、しかし私はあなたを明らかにするために少しの間彼に反対するつもりです、見てください。

9 ここに二人います。今夜、先日、ナザレのイエスが地上にいたときにあなたと話していました。私はあなたのところに来て、この仲間、ナザレのイエスに反対する理由をあなたと一緒に考えます。

今、私たちは皆、神が愛であることを知っています。聖書は彼がそうだと言っています。大丈夫です。そして、御霊の愛とは、辛抱強さ、優しさ、忍耐力、柔和さなど、つまり愛です。

さて、私はあなたに何かを聞きたいと言います。私たちはクリスチャンが持っているものを取りに行きます。あなたのこの年老いた司祭を見てください。彼の曾、曾、曾祖父は司祭でした。彼が司祭になるには、そのレビ人の血統で生まれなければなりません。私たちは今、彼はあなたの他の人のように若い男の人生を持っていないことがわかりました。彼は何をしますか？彼は自分を犠牲にします。彼はみことば、神のことばを研究するためにそこにいます。彼はそれを昼も夜も、昼も夜も通り抜け、そのすべての文字、巻物のすべての単語を知らなければなりません。彼はそれを心から知らなければなりません。彼が知っておくべきことがあるだけです。

10 それ以外に、あなたのお父さんとお母さんが結婚したとき、誰が夫婦として一緒になりましたか？あなたの敬虔な老司祭。彼が困窮し、彼の農場にいくらかのお金を借りていて、住宅ローンがそれを取るつもりだったとき、それはあなたの父親に誰が来たのですか？誰が彼のそばに立ったのですか？あなたの親切な老司祭。彼女があなたを出産していたとき、誰があなたの母親のそばの部屋に立っていましたか？あなたの親切な老司祭。あなたが病気で困っているとき、誰があなたのところに来ますか？あなたの親切な老司祭。誰があなたを祝福し、あなたを神に託し、8日目あなたを割礼したのですか？あなたの親切な老司祭。あなたのお父さんとお母さんが離婚しようとしたとき、誰が彼らを一緒に連れ戻しましたか？あなたの親切な老司祭。近所にトラブルがあったら、誰が対応しますか？あなたの親切な老司祭。確かに。

11 さて、この親切な老司祭は、神が犠牲のために子羊を必要とすると聖書が言っていることを知っています。男性の多くはビジネスマンなので、羊を飼うことはありません。しかし、神は羊を必要としています。彼らはそこでいくつかの屋台を作りました。彼らは彼らの羊を売って、ビジネスマンが彼らを買っていくことができるようにしました—神が要求する彼らの魂のために犠牲を捧げました。

この若い人はイエスと何と呼ばれましたか...彼はどこから来たのですか？ 彼は処女懐妊として生まれたと言いました。そのようなナンセンスなことを聞いた人は誰ですか？ 私たちは、彼の母親が彼女とヨセフが生まれる前に彼を持っていたことを知っています。あるいは、彼女とヨセフが結婚して、彼が生まれました。さて、彼はそもそも悪い名前であることがわかりました。彼はどんな会員カードを持っていますか？ もし彼が敬虔な人であったなら、彼はどのグループに加わりましたか？ あなたの司祭がそのみことばを知るために研究、研究、研究、研究したとき、彼はここに降りてきて、彼が築き上げてきたものを破壊します。あなたはそれを神と呼んでいますか？ 確かに違います。

12 さて、先日、あなたの司祭があなたが犠牲を買うことができる場所をそこに作ったとき、この若い人は何をしましたか？ 優しさ？ 彼は殴りました...いくつかのロープを一緒に、いくつかは...いくつかの革を編んで、怒りで人々を見渡し、それらのテーブルを蹴ってそこからそれらを打ちました。そして、あなたはその御霊の実と呼んでいますか？ 怒りで彼らを見ていますか？

そして、見て、エホバを崇拝する機会を人から奪ってください。ビジネスマンは彼を崇拝したいと思っています。彼は子羊を育てません、そして彼はそれを買うためにそこに行きました。そして、彼はそれをひっくり返して彼らを蹴り、そして彼らを追い出しました。そこに御霊の実を持っているのは誰ですか？

そういう事なのです。御霊の実ではなく、異言で話したり、叫んだりすることはありません。

13 あなたは言います、「それでは、ブラナム兄弟、証拠は何ですか？ 証拠は何ですか？」その時の言葉の証明。彼らは聖書を持っていました。彼はまさにエホバが起こると言われたことでした。解釈は必要ありません。そこで解釈しました。あなたの司祭がいました、彼らが持っていたすべてがありました、そして他のすべてはとても日常的で、そしてすべてがありました。しかし、それでも、彼らはみことばを見ることができませんでした。そして、彼はそのみことばをその時代まで生きさせました。それが証拠です。

その時代...ルターは彼の時代の証拠、彼の時代のウェスリー、この時代のペンテコステを持っていました。しかし、私たちは別の時代にいます。それらは良かったです。しかし、赤ちゃんが指、目、鼻を持っているように。しばらくすると、彼は人間にならなければなりません。彼は成熟した子供にならなければならず、それから生まれなければなりません。魂、体、霊を持ち、動き回ることができます。

14 今、私たちはこれらすべて、イエスが宣言したことを知りました。そして、ほんの数人、彼が命を定められた人々だけが彼を見ました。大群衆ではありません。彼の群衆はカヤパの群衆のようになることは決してありませんでした。なぜ、カヤパは国全体を一緒に呼ぶことができたのでしょうか。イエスはほんの数人を一緒に呼びました。彼を知っている人はあまりいませんでした。彼が地球に来たとき、何千倍も何千回も。彼は地球を通り抜けました、そして彼らは彼がここにいることさえ知りませんでした。

だから、またそうなるでしょう。彼は命を求められた人々のところに来るでしょう。彼は誰が命を呼ばれたか知っています。そして、彼はしません...それを世話するのは彼の仕事です。

15 今、私たちはそれに気づき、彼らは教会から出てきて、彼を信じました。みことばが彼について言っていたすべてのこと、彼はそこにいました。ある日、彼は彼らの家を出ました。私は3つのことについて話したいと思います。イエスは去り、死が来て、すべての希望は消えました。これらの3つのことについて数分間お話ししたいと思います。

イエスは去られました。そして、彼が去ったとき、問題が起こります。今、彼があなた、またはあなたが住んでいるあなたの家を去るとき、問題はその道にあります。イエスが去るとき、サタンは開かれた扉を持っています。彼は行っていた。そして、彼がそうしたとたんに、死が来ました。そして、イエスが出て行くとき、死が来ます。彼から離れることは死なのです。ですから、イエスが出て行ったとき、死が訪れます。

16 そして、ラザロと共に死が長引いていました。

そして、彼らが信じて愛した人は、ラザロのために祈るために彼に送られました。なぜなら、彼らは彼を見て、彼が神を知っていること、どんな神でも知っていたからです。マルタはそこでそれを表現しました、「あ

あなたが今神に言うことは何でも、神はそれをするでしょう。」彼女は彼と神が一つであることを認めました。彼はその時の言葉でした。それで彼女はそれを認識しました。そして、彼女は彼女が彼と接触することができるかどうかを知っていました...しかし、彼は去り、彼らは彼を捕まえることができませんでした。そして彼らは彼のために送りました。そして、彼が来る代わりに、彼はさらに進んだ。そして、彼らは再び送りました。そして、彼が来る代わりに、彼はさらに進んだ。

なぜそんなことが起こるのだらうと思うことがあります。しかし、聖書は、神を愛する人々にとって、すべてのものが一緒になって善のために働くと言っているのではありませんか？彼は自分が何をしているのか知っています。彼が遅れるなら、それは大丈夫です。彼は自分が何をしているのか知っています。目的があります。

17 私たちは、彼がヨハネによる福音書第5章19節で、「さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなたがたに言うておく。子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなさることであればすべて、子もそのとおりにするのである。」と言ったことがわかります。父は彼に立ち去るように、そして何日も離れるようにと言われました。

その時代が終わった後、彼は言いました...その時彼が言ったことは、「私たちの友人ラザロは眠る」ということでした。そして彼は言いました、「まあ、彼はそうします。しかし、彼は死んでいます。そして、あなたのために、私がそこにいなくてよかったです。」なぜなら、彼らは彼を癒すために彼のところに行かせたり、何をしなければならぬかを言わせようとしていたからです。しかし、彼は何をしなければならぬかを知っていました。それで、彼は彼がするように定められたとおりに正確に行いました:近づかないでください。

あなたは彼が戻ってきたときに墓で彼に気づきました、彼はそれを表現しました—彼が戻って彼の家を見つけたとき。

18 すべての希望はなくなった。ラザロは死にました。彼らは毎時間、「彼は現場に来るかもしれない。彼は現場に来るかもしれませんが。彼は戻ってくるかもしれませんが。」ついに彼は死んだ。息が彼を去った。

彼らは出て行き、彼を防腐処理し、彼の体から血を取り、彼をリネンとスパイスで包みました。彼らは彼を防腐処理し、墓に寝かせました。墓の上に岩を置きます。それは彼らの時代に埋葬する習慣でした。地面に穴を開け、その上に岩を置くかもしれません。それが彼らの習慣でした。

1日目、2日目、3日目、4日目がありました。その男はすでに墓の中で腐っていました。彼の鼻はおそらく落ちていて(それが...最初に落ちるのは鼻だと思います)、すでに腐っています。彼の肉はほごりに戻ったか、戻っていました。彼の魂は彼からどこかへの4日間の旅でした。この人生で彼に再び会うという希望はすべてなくなった。

そして、すべての希望がなくなったとき...彼らは待っていました—多分彼は初日、2日目に来るでしょう、いいえ。それから彼は死にました。彼は来ていませんでした。それから絶望が始まりました。

19 しばらくして、誰かが彼女に「先生は外にいる」と言ったに違いありません。マルタが通りを進みます。

イエスはその暗い時間に来られました。すべての希望がなくなったとき、それは通常彼が来るときです。彼は来ます...ちょうどその最も暗い時に、イエスはその場面に現れます。今見てください。彼は来てマルタを呼びました。彼の存在は新しい希望をもたらしました。その少年が死んでいたとしても、彼の存在は新しい希望をもたらします。

20 医者があなたをあきらめたとき、あなたは今夜ここに座っているかもしれませんが、私の友人。癌、心臓の問題、多分椅子に座っている、不自由な、すべての科学はあなたに希望はないと言っています。カルシウムの沈着物があなたの骨を結び、それ以上曲げることはできません。またはあなたの心がとても悪いので、医者はあなたがいつでも行くかもしれないと言います。ああ、そして癌患者の大群、そして結核、おそらくあなたが持っている最後の希望です。そして医者があなたを断ったようです。しかし、イエス・キリストの臨在の中にいること、そしてイエス・キリストの臨在を認めることは、再び希望をもたらします。

21 誰かがあなたに名前を付けることさえできます。多分あなたはそれを前に聞いたことがないでしょう。誰かにこう言わせてください。「教会がどこにあるか知っています。彼らは神を信じ、病人のために祈っています。」すぐに(今、あなたは死ぬ準備ができています、見てください)、新しい希望が湧き出てきます。それは常にその暗い時間に行われます。それは通常誰かがそれについて何かを言うときです、イエスについて

あなたに話します。彼の存在は新しい希望をもたらしました。

昨夜と同じように、今夜も同じことができますように。疑いの影を超えて、立証されたみことばが明らかにされ、証明されたのを見たとき。1900年前に生き、カルバリーで亡くなり、3日目に起き上がり、弟子たちに現れて目を開け、その日の約束をしたイエスが今夜ここにいるのです。それは人々に希望をもたらすに違いありません。新しい希望が浮かび上がります。

22 たぶん誰かが言ったのかもしれませんが。「教会はしばらくの間乾燥してきました。私たちは数ヶ月の間、良い新鮮な水を持っていません。リバイバルはありません。みんながとても停滞しているように見えます」とか何か。「私たちはただ教会に行き、賛美歌を歌い、いくつかのメッセージを聞いて戻ってきます。」しかし、突然、私たちが乾き始めると、イエスがその場に来て、私たちをリフレッシュし、私たちに新しい何かをもたらします。彼はそれをするためにいつもそこにいます。イエスが入ってきたとき、新しい希望が来ます。彼の存在は新しい希望をもたらします。

彼女は彼がその顕現された神の言葉であることを知っていました。彼女はその時代に見たことがありました。そうでない場合でも、彼女はまだ正統派でした。彼女はまだ教会に所属していました。しかし、彼女はそれが約束された言葉を見たのです。彼女はその約束された言葉が彼によって明らかにされるのを見ました。そして彼女は彼がその生きたみことばであることを知っていました。そして、それについて聞いたとき、彼女はどれほど多くの批判があったか、あるいは他に何を気にしなかったのでしょうか。彼女は彼がその顕現された言葉であることを知っていました。

23 間違いなく、彼女が彼の時代のエリヤの物語について読んだことでしょう。なぜ、彼はその時代に神の顕現された言葉でした。彼は預言者でした。そして、主の言葉が預言者に来ます。そしてそこには、預言者が彼女を祝福した祝福によって彼女に与えられた小さな赤ん坊を持った女性がいました。そして彼女には子供がいました。ある日、11時ごろ、彼は日光浴をしていたに違いありません。彼は父親と一緒に野外に出ていました。聖書はそれが日射病であるとは言っていないが、彼はその日の11時ごろに「私の頭、私の頭」と叫び始めました。そして、彼には家に連れて行くために召使いがいました、父はそうしました。彼は正午ごろまで母親の膝の上に横になり、どんどん病気になる、ついに亡くなりました。

24 そして今、絶望する代わりに...すべての隣人は叫び続けています。しかし、その堅実な母親...彼女の赤ちゃんは死んでいました。彼女は預言者のために用意した小さな部屋に彼を連れて行き、そのように彼を彼のベッドに横たえました。そして彼女はしもべに言いました、「ラバにサドルを乗せ、そうすればあなたはまっすぐに乗ります。そして、私があなたに言わない限り、あなたは止めないでください。」ああ、何と！それだけです！あなたは議論したり、大騒ぎしたりする時間がありません。これはその日を過ぎています。続けましょう。私たちはそこに着かなければなりませんでした。必要がありました。

そして、彼女は言いました、「あなたは前進します。私があなたに命じない限り、あなたはあなたの乗馬を緩めないでください。」そして彼らはエリヤに着くまで行きました。

エリヤ、神の人であり、キリストのようではありません。キリストはすべてのことを知っていました。なぜなら彼は神だったからです。エリヤは神の一部でした。それがエリヤのキリストでした。そしてそれがその時のメッセージでした。その時の主のことばはその預言者と共にあったからです。

イエスはそれらすべての預言者の満ち足りたものでした。それらのすべては彼を明らかにしただけでした、それだけです。ヨセフからずっと、そして銀の30個、彼がキリストを描写したすべての言葉。モーセもそうしました。

25 ダビデは、拒絶された王として丘の上に座り、拒絶されたために泣きました。その800年後、ダビデの息子は丘の上に座りました。それがダビデのキリストの霊でした。そして彼は...なぜ、彼はダビデの根であり子孫でもありました。それで彼は丘の上に座り、拒絶された王として泣きました。「エルサレム、エルサレム、私はどれほど頻繁にあなたを雌鶏のように彼女のひなとしてホバリングさせたのでしょうか。」それは何でしたか？そこに戻ったのはキリストでした。

ダビデが賛美歌を書いたとき、それはキリストが泣いていたことでした。「わが神、なぜあなたは私を見捨てたのですか？私のすべての骨、彼らは私を見つめています。彼らは私の足と私の手を刺しました。彼らは私の衣服を彼らの間で分けました。彼らは私のベスチャーのためにたくさん投げました。」それがダビデで語ったキリストでした。

彼はみことばの現れでした。キリストは預言者たちによって話されたことを彼らに成就するために来られました。なぜなら、みことばは預言者たちと共にあったからです。私は昨夜のレッスンでそれを言いました：彼らがみことばを持っていたので、彼は預言者が彼について言ったことを成就するために来ると言いました。そしてエリヤは神の預言者、その日の言葉でした。

26 それで、シュナム人の女は、彼が来て神の力を現し、赤ん坊の上に横たわり、赤ん坊が生き返るまで、その預言者と一緒にいました。

さて、マルタは家の世話や食器洗いなどで忙しかったのですが、これを認識していたに違いありません。しかし、そこで彼女は自分の色を見せました。彼女は本当に自分の中にあるものを見せてくれました。彼女はすぐに彼を迎えに行きました。神がエリヤにいるなら、神はキリストにいなければなりません。彼がその人であることを証明したことを知っていました。アーメン！私はその型の決定が好きです。彼女は彼のところへ行きます。彼女は彼に行かなければなりません。そして、彼女が彼に着いたとき、彼女はそこで見つけました....さて、覚えておいてください...彼が決して変わっていないこと、神が彼のプログラムを決して変えていないことを知っていました。もし彼がエリヤにいて、死者をよみがえらせることができたなら、彼はキリストの中において、死者をよみがえらせることができましたが、そうではありませんでした。なぜなら、それは同じ神だからです。

27 彼はまだ変わっていません！今夜の神は今までと同じくらい多くの神です。彼は昨日も今日もそして永遠に同じです。彼は変わらない。そして彼は彼女がそれが彼の中にあることを知っていたことを知っていました。ほんの数分見てください。彼女が兄について彼に何かを言ったとき、それはそれを証明しました。そして彼女は言いました、「主よ、私はあなたが……だと信じています。」

そして彼は言いました、「私は蘇りであり、命である。彼は死んでいたが、彼は生きるだろう。そして、わたしを信じて生きる者は決して死ぬことはない。そうだ—それは私がモーゼと一緒に燃えている茂みの中にいたということです。私は蘇りであり！命である！私がそれである！私は今も彼です！私は蘇りであり、命です。私を信じる者は、死んでも生きるでしょう。私を信じて生きる者は、決して死ぬことはないのです。」

彼女が持っていたこの大きな保証の後、彼が言ったとき(預言者であるため、彼は嘘をつくことができませんでした)、それゆえに彼が私はあつてあるものであると彼が言った時、それこそが約束の言葉でした。私は蘇りであり命である彼なのです。」

28 彼女は言いました、「私はあなたがこの世に来ることになっていた神の御子であると信じています。私の兄は死んでいますが、墓の中に横たわっています(彼の体は今腐っています)が、今でも、あなたが言うことは何でも起こるでしょう。」

彼女が望んでいたのは、彼がそれを言うのを聞くことだけでした。ああ、マルタ、今夜はどこにいるの？「言葉話すだけで、私の僕は生きるでしょう。」彼がそれを言うのを聞いてください。彼らは彼女に彼がそれを言ったと言ったかもしれませんが、ここでは彼は彼自身でした。神よ！盲目の目を開いて、彼らが見ることができるよう、彼の前で彼が話すとき、みことばは常に現れます。

彼女は言いました、「あなたが神に求めるものは何でも、神はあなたにそれを与えるでしょう。聞かせてください。」

彼女は彼にその言葉を言わせたかったのです。彼女が聞いたかったのはそれだけです。ただその言葉を聞いてください。彼女が必要としたのはそれだけでした、彼がそれをするだろうと彼が言うのを聞いたのです。

29 そして、彼はその時それをしたでしょう、しかしあなたが見るように、父が彼に示した幻によって、彼は墓のそばに立っていなければなりません。

ああ、何と！信仰を持ちなさい。神はすべてを正しく働いておられます。分かりますね。彼女が墓に着くまで待ってください。彼女が彼にそれを言わせることができたら、気づいてください。彼がまだいなかった時でさえ....すべての希望、すべて、すべてがなくなった。彼は死んでいて、墓の中で腐っていました。しかし、ただ彼がそれを言うのを聞いてください、それは彼女が望んでいたすべてです。

さて、彼が「私は蘇りであり、命である」と言われたとき、彼女はそれを信じました。彼女はそれを信じていました。さて、気づいてください、今、彼女は不可能を信じなければなりません。彼女が彼の言うこ

とを聞いたとき、「私は復活であり、命です。彼は死んでも生きるでしょう。わたしを信じて生きる者は、決して死ぬことはない。」「あなたはこれを信じますか?」と言いました。

そして彼女は言いました、「はい、主よ、私はそれを信じています。私はあなたがこの世に来ることになっていた神の子であると信じています。」私はそれが好きです。

私はそれが好きです。

30 私は前にこれを言いました。今、再び立つかもしれませんが。私は少し前に、ここで少し前に言及したある教会で、彼が神、彼の神であるとは信じていない女性と話していました。彼はただの預言者であり、普通の人でした。彼は本当にそうだった。彼はそれであり、それに加えて神でした。彼は現れでした。イエスは体であり、少年であり、人です。神は彼に住んでいたものでした。神は彼の中にいました。彼は神の人でした。彼は人でした、それでも彼は肉体で現れた神でした。私たちがイエスを見ると、私たちは神を見るのです。それが彼が言ったことです。「あなたが父を見ると、あなたは私を見る。」あなたは父を見ます、なぜなら彼は反映であり、彼は初めにあったみことば、アーメンだったからです。アーメン。

31 彼は預言者を神々と呼びました。ご存知でしたか? 彼は言いました、「あなたは彼らを神々と呼んでいる彼らに神の言葉が来るのです。私が神の子であるとあなたに言うとき、どうして私を罪に定めることが出来るのか?」同じ言葉が彼がそこにいると言ったからです。そしてそこにみことばが再び現れました。それでも彼らはそれを信じませんでした。

この女性は私に「私は証明することができます...」と言いました。「私はあなたが説教するのを聞くのが好きです、しかしあなたがやりすぎることが一つあります。」と彼女は言いました。

「まあ、それは何ですか?」

彼女は「あなたはイエスを自慢しすぎています」と言いました。

私は言いました。「彼が私に対して持っているのはそれだけだといいいのですが。彼が……」と私は言いました、「それが彼が私に見つけることができるすべてのせいであることを願っています。」私は言いました。「もし私が1万の舌を持っているとしたら、私は十分に話すことができませんでした。ああ、彼が持っているものは……」

彼女は言いました、「しかし、あなたは彼を神にしています。」

「彼はそうだった、さもなければ彼は世界がこれまでに持っていた最大の欺瞞者でした。」と言いました。

彼女は「彼は預言者でした」と言いました。

私は言いました、「彼は預言者でした、それは本当です、神の預言者です。みことばの完成品。預言者はみことばを彼にさせました。それが彼を...彼を預言者にした理由です。しかし、彼はそのみことばの完成品でした。」

そして彼女は言いました、「私は証明することができます。....あなたは彼を神聖なものにします。」

私は「彼は神でした」と言いました。

彼女は「彼は神になることはできない」と言いました。

私は「でも彼はそうだった」と言いました。

彼女は言いました、「あなたは聖書を信じると言いました。」

私は「そうです」と言いました。

32 彼女は言いました、「私はあなた自身の聖書によって彼が神ではなかったことをあなたに証明します。」

私は言いました「それをしなさい 聖書がそう言っているなら、私はそれを信じます。なぜなら、私はみことばが正しいと信じているからです。」

彼女は言いました、「...ラザロの墓への道で...あなたはヨハネ11章にあるそれを覚えていますか？」

私は「確かに覚えています、マダム」と言いました。彼女は言いました。聖書は彼が泣いたと言っています。」

私は「確かに聖書は彼が泣いたと言っていました」と言いました。

「どうして彼が神なら、泣くことができるのだろうか？」と言いました。

私は「彼は人間だった」と言いました。

「人間と神？」

私は言いました「はい あなたは彼が男であり、そこに沿って行き、泣いている人たちと一緒に泣いているのを見ることができませんでした。そうです、悲しむ人たちと一緒に悲しんでいます。彼は男だった。しかし、彼が彼の小さな虚弱な体をまっすぐにして、「ラザロ、出て来なさい」と言ったとき、4日間死んでいた男が彼の足元に立っていました—それは男よりも多くを要しました。それはその人の中の神でした。誰が死者をよみがえらせることができますが、神ですか？」彼は蘇りであり、命である。そうなのです。

33 その夜、彼がそこにいたときに海に出て、疲れていて、ボートの後ろに横たわっていました。そこでは... 1万人の悪魔がその夜彼を溺死させると誓いました。そして、嵐の海で、ボトルストッパーのように飛び回っているその小さな古いボートは、悪魔が考えました。「私たちは今、彼を手に入れました。彼は眠っています。たくさん沈めます。」ああ、彼は疲れた男でした。しかし、一度目覚めたとき、彼はただ足をブレイルの上に置き、見上げて「平和、静まりなさい」と言いました。そして風と波はそれに従いました。それは普通の人ではありませんでした。

彼はお腹が空いたときは男で、山から降りてきて、パンや何か食べるもの、あるいは木のイチジクを探していました。しかし、彼が5つのパンと2匹の魚を取り、5000人が食べたとき、それはその人の内におられた神でした。そうです。

34 ああ、これまで豆の山に達したすべての人はそれを信じていました。それを信じたすべての詩人...誰も書いたのも不思議ではありません:

生きて、彼は私を愛してくれました。そして死に、彼は私を救いました。

埋葬されて、彼は私の罪を遠くに運びました。

立ち上がり、彼は永遠に自由に正当化した:

いつか彼は来ます—ああ、輝かしい日です!

エディ・プルイット[ペロネット]、誰...彼の曲は売れませんでした。ある日、彼は聖霊の影響でよろめき、ペンをつかみました。彼が書いたとき、彼は就任式の歌を書きました:

すべてがイエスの御名の力を歓迎します!

天使たちが墮落させてください。

王室の王冠を生み出し、

そして、すべての主を戴冠させてください。

確かに、それは私たちが彼がそうであったと信じていることです。はい!

35 彼女は今、不可能を信じ、その日の現代の考え方を信じなければなりません。だから、あなたは不可能を信じ、新しい人生を見て、何かが起こるのを見る必要がありますか? しかし、もし彼が認識したなら...彼女が彼をみことばであると認識したなら、彼は創造者であり、彼が言ったすべてを支持するので、不可能が起こる可能性があります。

今、信じることができるすべてのことが彼らに可能です。それが彼の言葉です。しかし、神が御言葉を受け入れられると、不可能が明らかになります。はい! 神が御言葉を受け入れられたとき、不可能が明らか

にされます。神がそうなると言われたら、あなたはその言葉を受け取り、何が起こるかを見てください...不可能が起こるのです。確かにそうなるでしょう。

しかし、そのすべてにおいてさえ、彼女は「今でも、主よ、あなたが神に求めるものは何でも、神はそれをするでしょう」と言ったことに注意してください。彼女は、もしその言葉を彼から得ることができれば、それが彼女がする必要があるすべてであり、その言葉を得るだけであることを知っていました。はい、それは彼女の最も暗い時間でした。そしてイエスがやって来て呼ばれました。ああ、彼らはなんと素晴らしいことを見たのでしょうか。蘇り!

暗い時代が来るところをもう少し見てみましょう。

36 聖書の中で最も古い預言者の一人であるヨブという男がかつていました。彼は素晴らしい人でした。彼は主を愛していたのです。そして、彼は彼の知る限りの方法を使っていました。そしてサタンは彼をふるいにかけることを望みました。それで彼はある日神に言いました...神は彼にむしろ「あなたはどこにいましたか、サタン?」と言いました。

「ああ、地球を行ったり来たり、上下に歩いたりしています。」

言った、「あなたは私のしもべヨブの事を考えましたか? 地球上に彼のような人は誰もいません。彼は完璧な人です。」

「ああ」と彼は言いました。あなたは彼にすべてを与え、彼のためにすべてをします。確かに、彼は素晴らしい人です。しかし、一度彼を迎えさせてください。チューンを変えます。私は彼にあなたをあなたの顔に呪わせます。」

彼は「あなたはそれをするにはできません」と言いました。それが信者に対する彼の確信なのです。なぜですか? 彼は無限です。彼は永遠です。彼は最初から終わりを知っています。彼はサタンがそれを行うことができないことを知っていました、なぜなら彼はみことばだからです。彼はヨブが何をするかをご存知でした。

37 さて、ヨブを思い出してください。彼は彼にできものを体中に与え、子供たちを殺し、持っていたものをすべて奪い、健康を失わせました。彼の慰め者でさえ来ました、そして彼らは彼が秘密の罪人であると非難する以外に何もできませんでした。そして、彼がとても苦しむまで、古いヨブはそのような場所に入りました。あなたは最初に苦痛に陥らなければなりません。あなたはそれが道の終わりである時間に到達しなければなりません。

ヨブは道の終わりに行きました、彼が言ったとき、「私が生まれた日は呪われている! 太陽さえも輝かず、夜までに月も輝かないように! その名前が決して呼ばれないように!」そして、その苦痛の中で、イエスがやって来ました。

彼は見下ろして言いました、「私は花が死ぬのを見ます。春にまた上がる。木が倒れると、水の香りで再び立ち上がるのです。」彼はすべての植物学の生命が再び生きているのを見ました。しかし彼は言いました、「人は横になり、死ぬことになりましたが、彼はどこにいますか?」

彼は自分が老人であることを知っていた。彼は言いました、「彼の息子たちは彼を悼むために来ます、そして彼はそれを認識していません。おお、あなたが私を墓に隠し、あなたの怒りが去るまで私を秘密の場所に留めておくことを。私に時間を任命し、私に時間を設定してください。」

彼はそのように話し続けました。彼は苦痛の終わりにいました。何が起こりますか? 葉は生きていて、木に戻ってきます。花がまた戻ってきます。他のすべてが出てきます。しかし、人は横になり、死ぬのです。彼は苦しんでいた。彼は彼とその時代の中で彼の年齢で彼に何が起こり得るかを知らませんでした。

38 彼がそうしたとき、それからイエスがやって来ました。神は彼の頭を空に向けました、そして彼はイエスが終りの時に来るのを見ました。

彼の妻が「神を呪い、死になさい」と言ったとき、最も暗い時でしたが、彼は言いました、「女よ、あなたは愚かな女性のように話します。主が与え、主が取り去られる。主の御名はさほむべきかな。」彼の妻でさえ彼を断りました、彼の教会は彼を断りました、誰もが彼を断りました。その暗い時間に、彼がそこからどこへ行くのかわからなかったとき、イエスがやって来ました。それから彼は叫びました、「私は私の贖い主が生き

ていることを知っています、そして終わりの時に彼は地球の上に立つでしょう。そして、皮膚の虫がこの体を破壊した後でも、私の肉の中で私は神を見るでしょう、私は誰を見るでしょう。」彼の最も暗い時間に、イエスがやって来られるのです。はい!

39 モーセ...モーセにとって、イスラエルで最も暗い時が彼のために来ます。彼は正しかった。茂みの中で神に会い、「私は私です」と言いました。彼はそこに行き、ヤヌとヤンブレが彼の言葉になりすまそうとしている、あらゆる種類のなりすましを通して戦いました。これらすべて、彼は神に忠実に立っていました。彼はついにイスラエルに彼を信じさせました。

ここで彼はエジプトから出て、約束の地に上がり、そこで神は「あなたはこの山で私を崇拝するでしょう」と言われました。それが神の言葉でした。モーセは自分がその山に行かなければならないことを知っていました。アーメン。神はそう言われました! パロは彼を殺すことはできません。悪魔は彼を殺すことはできません。何も彼を殺すことはできません。彼はその山に来ています。ハレルヤ! 私は宗教的だと感じています。彼はその山に行きます。

ですから、私たちは栄光への道を進んでいます。何も私たちを止めるつもりはありません。神は御言葉を立証するつもりです。私は何が起こるかは気にしません、とにかく彼はそれをするつもりです。はい。

40 任務の道の彼の道の途中で、ここで彼は山の間に縁取られています。彼は彼の後ろで轟音を聞きます。それはなんですか? 槍や物で装甲された何千人もの人々がやってくるパロの戦車に乗って、彼らを踏みにじります。紅海があり、彼を断ち切らせました。彼は何をしましたか? 彼は苦しんだ。人々は皆、叫んでいます。パロは私たちを殺すでしょう! 剣が私たちを駆け抜けます! 私たちの赤ちゃんはこの荒野で死ぬでしょう!

モーセは「ああ、神様!」と叫びました。

そして、イエスがその場に来られました。彼は火の柱でした。そうです。彼は降りてきて、彼と危険の間にぶら下がっていました。アーメン! 彼は私たちの仲介者です。彼は同じイエスです。アーメン! 仲介者。そこに彼は立ってそこに立っていました:エジプト人、それについて何かをしようとして来ている人々への暗闇、彼は通り過ぎるために彼らに軽いものでした。そして、朝に……その夜、風が本当に激しく吹き始めたとき、彼は何をしましたか? 彼は火の柱の形でやって来ました。

41 覚えておいてください、彼は今もその火の柱です。はい。

彼が地上にいたとき、彼は「私は神から来て、神に行きます」と言いました。そして、彼の死、埋葬、復活、そして昇天の後、パウロはダマスカスへの道で、その火の柱に打たれました。覚えておいてください、彼はヘブライ人でした。彼はこれを言わなかったでしょう:彼は言いました、「主よ、あなたは誰ですか? [大文字のL-o-r-d(主)、エロヒム]私が迫害しているあなたは誰ですか?」

彼は「私はイエスです」と言いました。

アーメン! ハレルヤ! 彼は初めであり終わりの方です! 彼は今も変わらないのです! 「しばらくすると、世界は私をもう見なくなります。しかし、あなたは私を見るでしょう。私はあなたの中にさえあなたと一緒にいます。」同じ火の柱、同じ神が同じ約束で同じことをしているのです。アーメン! 彼の言葉を顕現させる。「私は蘇りであり、命である。私は彼であり、彼であり、そして来るべき彼です。」はい! 「あなたの父親は荒野でマナを食べます。」彼は言いました、「彼らは皆死んでいます。しかし、私はあつてあるものであるということです。」モーセと燃える茂み、それが私なのです。彼は今も私です。私はそうであったではありません、私は今もあつてあるものであるのです(常に、現在形なのです)。

42 私たちはここで、モーセがこの隅に引き戻されたこと、そして...キリストが降りてきたことを知ります。さて聖書は、モーセはキリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富と見なしていると言っています。キリストの非難—キリストは油注ぎ、神、天使から出たロゴでした。聖書の読者なら誰でも、その天使がキリストであることを知っています。そして、そこで彼は荒野にいました、そして彼は彼が現れることになっていた形で現場にきました。神に栄光を! 彼は今日、同じキリストが現れた形で来ます。彼は彼らを連れ出すと彼らに言いました。彼はそれをやっていた。そこで彼はそれを立証するために彼の言葉を支持するようになりました。

それから、彼がマルタにしたように、彼が来た後、彼は呼ばれました。彼は言いました、「モーセ、なぜあなたは私に泣いているのですか? この人々に、あなたが前進するように話さない。」その暗い時間に、紅海

が開かれ、彼らは神の言葉を成就するために旅に出ました。はい、それはモーセの最も暗い時間でした。そして、イエスがやって来ます。私たちは今時間があります....そして彼はモーセを呼びました。

43 私たちはあなたの注意を別の小さな男に向けたいと思います。彼の名前はヤイロでした。今日、世界中にたくさんの方がいます。彼は秘密の信者でした。彼はイエスを愛していました。彼は彼について聞いていました。彼は彼を信じていました。しかし、ご覧のとおり、彼はすでに組織に参加しています。そして、彼は出て来られず、それを告白しました。彼はそれを信じましたが、告白することはできませんでした。それで彼は不信者と合流しました。しかし、彼は本当にそれを信じていました。

ご存知のように、人がその形になると、神が彼を対決に連れて行くことがあります。私たちが実際に私たちの色、私たちが実際に何であるかを示すとき、それは苦痛です。それで彼はそこにいました。彼はすでに不信者に加わっていました。彼は行って、本に自分の名前を書いたりしました。そして彼は司祭でした。そして、それで彼はほとんど告白することができませんでした。なぜならそれが彼の食事券だったからです。そしてそう....しかし、彼はまだイエスを信じていました。

44 ある日、彼の小さな娘が病気になりました。ああ、何てこと。間違いなく、そのような人は医者呼んだでしょう。医者が来て、子供に付き添いました。熱はどんどん悪化しました。しばらくして、彼女はとても熱くなり、すべてが、ついに死に至りました。彼は苦しんでいた。彼は何かをしなければならなかった。彼はどうしたらいいかわからなかった。さて、彼は「彼がどこにいても、私が彼を見つけることができれば.....」と考えました。今、彼はニコデモのように夜になるまでプライベートインタビューをするのを決して待ちませんでした。時間は行動の時でした。行動の時が来ました。そして彼はその時行動しなければなりません。

兄弟、姉妹、今も同じだと思います。行動の時が来ました。信じる、または信じない時が来ました。その分離線はすべての男性と女性に来ています。それはすべての子供に起こります。時々、あなたがその線を通過するとき、ただ一つだけ残っていることがあります:それはあなたが憐れみと裁きの間を通過するとき、あなたがその線を通過するときの裁きです。

45 覚えておいてください、彼は苦しんでいました。彼は何をすべきかわからなかった。そこに彼の司祭が立っていて、すべてのラビが彼の周りに立っていました。交わりは彼と一緒に、彼の小さな女の子が死ぬのをずっと見守っていました。医者は手を組んで外に立って、握手をしました。「私は知っているすべての薬を与えます、そしてそれでも.....」ほら、それはイエスがいつも働いていたのです。イエスはその小さな仲間から色を引き出す目的でこれをしていました。

しばらくすると、彼が小さな黒い帽子を手に取り、それを引っ張って、彼の小さな司祭のコートを着ているのを見ることができます。

「どこに行くの？」

「私は川のほとりで急いでいます。私は彼を追いかけます。」

ああ、何と！ 離れて彼は行きました

46 苦痛のその時間に。彼は決断を下さなければならませんでした:彼の子供を死なせるか、それとも.....彼はそれがみことばの現れであることを知っていました。彼は司祭で、みことばを読んでいました。そして彼はそれが神の現れであることを知っていました。神はキリストの内にあり、世界を自分自身と和解させていました。彼はそれを知っていました。そして彼はその問題を強いられました。彼は決断を下さなければならませんでした:彼の子供を死なせてください。または彼の告白をします。彼がその苦痛に陥ったとき、イエスがやって来たのはその頃でした。彼は彼に会いに行きました。彼は言いました...彼は言いました、「あなたが言うことは何でも、私はあなたと一緒にいきます。」

そして、道に出て、ここにランナーが来ます。暗闇....同じ時代、彼はそれを信じていると告白しました。彼はその時自分自身を伝道し、彼はイエスを信じていると言って公の目に留まりました。

47 そして、ここにランナーが来て、「誰も気にしないでください」と言いました。あなたの女の子はすでに死んでいるからです。彼女は昨日亡くなりました。彼女はすでに死んでいます。もうだまされなくてください。」

そして、彼の小さな心は衰えるのが好きでしたが、彼はイエスのそれらの目を見て見ました。「私はあなたに言いませんでした、あなたが神の栄光を見たいのなら、恐れなくてください。何が怖い？ 私は行くと

あなたにすでに言いました。」

彼はすでに彼が来ると言っていました。彼はすでにこれをするだろうと言っています。そして、ここで彼はそれをしています。アーメン。彼は、私たちが昨夜読んで話したように、最後の日に現場に立ち上がって、彼がしたようにこれらのことをするだろうと言いました。ここに彼はいます、それをしています。何が怖いですか？ 彼が来て、死から彼女を呼んだ時のことを覚えておいてください。彼は現場に来て、彼女を死から呼びました。

年寄りの盲目のバルテマイは、かつて、彼の最も暗い時間を過ごしました。

48 イエスはそこにおいて、エリコでフルゴスペルビジネスマン達の朝食を用意しました。そして彼はそこにザアカイを持っていました。彼は通りを下った木で彼に会った。それで、彼がいたとき...彼は他に何も組織しなかったでしょう、私は確信しています、ほら。それで、彼がそこに降りてきたとき、彼は持っていました...ザアカイは彼と一緒にきました。年寄りの盲目のバルテマイは幼い頃から盲目でした。それで彼はイエスがその門から出てくるのではないかと考えました。彼は待っていた。

しばらくすると、彼はたくさんの音を聞き、みんながやって来ました。そして彼は司祭たちが言うのを聞きました。ねえ、あなた！ あなたはそこで丘を登っています—あなたが死者をよみがえらせたと聞いています。私たちはここに彼らでいっぱい墓地全体を手に入れました。もしあなたが救世主であるなら(あなたが救世主であるなら)、ここに来てこれらの死者をよみがえらせてください。」

ご存知のように、同じ悪魔が宗教の形で同じように生きています。「あなたが救世主であるなら、あなたは死者をよみがえらせます。私たちはここに彼らでいっぱい墓地を手に入れました。来なさい。」

ああ、みんなが叫んで、一人は「預言者へのホサナ」と叫び、もう一人はこれ、あれ、そしてもう一人はそのような混乱を叫びました。

そして、この盲目の老人は、「ああ、私は彼がいなくて寂しかった。彼はそこに出てきて、私は彼がここに来ると思っていました。私は間違った場所に置かれました。」それから彼は叫び始めました、「彼がみことばなら、彼は神です。彼はそうしなければならない。」彼は言った、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」。その苦痛の時間に彼は声をかけた。

49 さて、ここで彼に印を付けるなら、イエスはエリコにいました。彼らが彼が座していると言ったところ、彼はイエスがいた場所から150ヤードのところにおいて、何千人もの人々が彼の周りを急いでいました。彼はその男の叫びを聞くことができなかつたでしょう。いいえ、しかし彼はそれを感じました。彼は立ち止まった。私はこれらの夜の一つを説教したいと思います、「そしてイエスは立ち止まった」。ああ、それからイエスは身をかがめました。ああ、でもイエス様が立ち止まった時、それは何でしたか？ 彼は彼を呼んだ。

「先生が来ました。心配しないでください」と弟子たちは言いました。「彼はあなたを呼びます。彼はあなたを呼んでいます。」その群衆から彼を呼びました！

彼は今も同じことをしています。染み込んでいますか？ マスターが来て、あなたを呼びました。そして、彼はラザロを死から生へと呼んだように、盲目から光へ、闇から光へと呼びかけています。先生が来ました、そして彼はあなたを呼びます。そして、彼が呼ばれたとき、彼は彼に彼の視力を返しました。

50 長血を患った小さな女性は、ある時、丘の上で、彼女のお金のすべてを医者のために支払いました。間違いなく、彼らはチームを売却し、農場を売却し、抵当に入れました。彼らはできる限り医師と過ごしました。それらのどれも彼女に何の役にも立ちませんでした。彼女は絶えず悪化しました。血は止まらなかった。絶えずそれは続いた。彼女はどんどん深くなっていきました。そしてある日、そこに座って編み物をしながら、彼女が住んでいた丘の上で、彼女は谷を見下ろしました。そして彼女はボートが入ってくるのを見ました。みんなが走り始めました。「預言者へのホサナ！」

51 彼女は彼について聞いていました。信仰は聞くことによってもたらされます。さて、彼女は「私は降りて彼を見ていきます」と言いました。そして、彼女がそこに歩いて行って、最初に神の言葉が肉体で表されているのを見たとき、彼の話と彼の外見について何かがあり、それが彼であることがわかっていました。はい！

「ああ、もし私が彼の注意を何らかの方法でしか引き付けることができなかつたら。もし私が何らかの方法でのみ彼に触れることができたなら。」

そして彼女は群衆の中をすり抜けて、彼の衣服に触れました。さて、覚えておいてください、彼が感じたのは彼女の指ではありませんでした。いいえ。パレスチナの衣服が緩んでいるからです。

そしてペテロは、「みんなが触れている」と言いました。

彼は言いました...しかし彼は言いました、「これは別の感じでした。体から力が出て弱くなったと感じました。」

52 イエスが来られました。彼女のお金はなくなった。すべてがなくなった。血が止まらず、医者がそれを止めることができなかつたその暗い時間に、イエスが来られました。そして、彼は何をしましたか？彼は電話をし、彼女を見つけるまで周りを見回しました。そして彼は言った。「あなたは長血を患っていましたが、それは止まりました。」彼は昨日も今日もそしていつまでも変わることがありません。先生が来ました、そして彼はあなたを呼びます。彼は来て、彼は呼ばれました。彼は彼女を健康に呼び戻した。

53 私たちが昨夜話した井戸端の小さな女...すべての希望はなくなっていました。おそらく、おそらく、彼女の5番目の夫が彼女を去っていたのでしょう。そして彼女はちょうどその夜6番目の男がいました。そして、彼女は彼について少し疑いを持っていました。道徳的に彼女はいなくなつた。彼女は本物の女性になりたかつた。間違いなく、彼女は聖書を読んでいました。そして彼女はそこに沿って行き、11時ごろに上がっていました。

正義の女性が来る早朝には彼女は来ることができませんでした。そして、彼らは頭と水差しに水を詰めて、降りました。それで彼女は来て彼らと混ぜることができませんでした。その日、彼らはそれを分離していました。善悪が混ざり合うことはありませんでした。不道徳は彼らの場所にとどまりました。それで、彼女は彼らの残りと一緒に来ることができませんでした。彼らは彼女を来させませんでした。

それで、皆が彼らの水を得て、戻つた後、彼女は良くなるために来ます。

54 そして、彼女は鍋を頭に乘せてそこにやって来ます。

疑いもなく、彼女は考えながら進んでいます。「さて、私が結婚した男は昨夜手に入れました、私は彼を疑っています。彼は男だ...彼はとてもおかしい行動をする。私は彼のことを知りません。チャンスがありません。私は社会から追放されました。そして、私はそれらの教会に行くことができません。彼らはしません...ただそれらを見てください。どうしたらいいかわかりません。私は苦しんでいます。

「そして私は聖書を読んでいます。きっといつかその預言者が現場に来るでしょう。私は彼らがそのようなことはないと言っていることを知っています、そしてこれはおそらく100年、おそらく1000年先になるでしょう。「私たちは何千年もの間それを探していましたが、そしてそれはまだ起こつたことはありません。だから私たちは今それを探していません。すべてがそうです、ああ...いいえ、私たちは教会や物を持っています。ですから、今はそのようなものは必要ありません。」

それで、彼女はそこに沿って考えていました。あなたが彼について考えるとき、それは彼があなたに現れる時です。昨夜のように、彼らがエマオへの道を進んでいたとき。

55 彼女はそれらすべてを考えたとき、男性が「私に飲み物を持ってきてください」と言うのを聞いた。しかし、それは、彼女のモラルがなくなつた最も暗い時間の中で...多分かなり小さな女性が通り抜けて...通りに行つてそこに住んでいました。時にはそれは少女のせいではなく、彼女の両親のせいです。そのように彼女を出させてください。

そして、彼女はそこにいました、多分彼女の小さなカールはすべてぶら下がっていました。彼女は疲れ果てていました。子供、彼女とは誰も関係がありませんでした。多分その背後にある大きな物語。とにかく、私は一つのことを知っています。彼女は聖書を読んでいて、聖書を信じていました。そして、小さな種があり、彼女の心に横たわつて、「もしそれが起こつたら、私はそれを知るでしょう」と言います。彼女はそれにあらかじめ定められていました。

56 そこに立っていて、彼がしたように行動しているその古いユダを見てください。彼は心の底で真っ暗だった。彼の作品ではここで光が輝いていましたが、彼は心の中でそれを信じていませんでした。そして、ここに彼女がいました...ほら、光はそれに降りることができませんでした。しかし、ここで彼女は信じていました。彼女はそれを信じていましたが、彼女の人生は真っ暗になりました。光が当たったとき、それは暗闇を取り除きました。しかし、ここに光が当たると、全体が真っ暗になりました。それが違いです。

ほら、彼女はその目的のために生まれました、ほら。彼女は言いました....彼が彼女に彼女が何人の夫を持っているかを彼女に言ったとき、彼女は....何が起こったのですか？ 彼女は一気に興奮したようだった。彼女は苦しんでいた。彼女は言いました、「先生、私はあなたが預言者だと思います。メシアが来るとき、彼がこれらのことをすることを私は知っています。」それから彼は彼女を呼んだ。

それから彼は彼女を呼んだ。「あなたと話している私がそれである。」

彼女はそれを神の言葉によって認識しました。彼は彼女を罪から光へと呼びました、そして彼女の名前は聖書にあります。そして、彼女は今日不滅の命を持っています。

彼はあなたを同じように呼ぶことができます、なぜなら彼は昨日も今日もそしていつまでも変わることがないのです。ええ。彼女のモラルはなくなった。しかし、それでも彼女は彼がその識別力を持っていることを知っていました。彼女はそれが救世主でなければならないことを知っていました。それから、イエスが「私がそれである」と言われたとき、彼女はそれがそうであることを知っていました。

57 ある時、弟子たちは船に出ていました。すべての希望はなくなった。嵐....彼らはイエスなしで去っていったでしょう。嵐は.....ラザロの家と同じように、すべての希望は消えていました。小さな古いボートは水浸しになっていた。そして、彼らは叫び、泣き、そして多分祈って、そして続いていました—稲妻が点滅していました。そしてボートは水で満たされ、マストポールが落ち、オールが壊れました。彼らはお互いを抱きしめて泣いていた。

そして、その本当の最も暗い時間に、イエスは歩きに來ます。しかし、彼は彼らにとって影のように見えました。彼は霊のように怖く見えた。そして彼らは恐れて叫びました。それが今日の問題です。イエスは1時間、あなたの暗い時間に來ます、そしてあなたはそれを恐れています。あなたはそれが何であるかを知りません。彼らは彼が何であるかを知りませんでした。彼らは、「ああ、それは霊だ!」と言いました。彼らは叫んでいます。

58 そして彼は呼ばれ、「恐れるな、それは私だ」と言いました。最も暗い時間に、イエスは助けに來られます。それは彼がいつも最も暗い時間に來る方法です。それからイエスが來られて、彼自身を現されて、彼らのところに來られました。

ペテロは言いました、「もしそれがあなたなら、私に水に來るように命じてください。」

イエスは「さあ」と言われました。

あなたは何を知っていますか、友達？ すぐに彼はこの終わりの時にそれらのために來るでしょう。さて、教会がこの暗い時間に再び入ったのは不思議ではありませんか？

59 さて、ここで何か言います。それは教義ではなく、ただ予言しているだけです。何が起こったのか知っていますか？ すべての宗派がエキュメニカル評議会に参加しなければならないということは、すぐに来るでしょう、私の言葉に印を付けてください。そうでなければ、彼らは評議会の支援を受けることができません。

したがって、誰もこれらの教会に行くことも、どの教会にも行くことができないというボイコットがあります。自分の教会からの印がない限り、売買することはできません。分かりますね。それがそうであったように、それは再びそうなるでしょう—獣へのしるしです。そして教会は気づくでしょう、そしてそれは霊的な人々です。そして、あなたのペンテコステ派の人々は、とにかく、これを認識すべきです。あなたはそれを感じ始めます。あなたの教会が...ペンテコステのあなたの組織の多くが(そして私はあなたの名前を呼ぶ必要はありませんが、あなたは知っています)、今彼らはそれにやって来ています。彼らは彼らがそうであったことを目撃しました。

そして、あなたがそれをするとき、あなたは何をしなければならないのですか？ あなたは聖霊のバプテスマについての福音の教えを失う必要があるでしょう。あなたは聖書の教義を失う必要があります。そして、メンバーはそれを支持するつもりはありません。本当の生まれ変わったクリスチャンが最初に死ぬでしょう。彼らはみことばによって警告されています。彼らはこのことが來ることを知っています。はい。

60 そして、この最も暗い時間の中で、イエスがやって来て私たちを呼ぶのは奇妙ではありませんか？ 「落胆しないでください、それは私です。私はまだあなたと一緒にいます。私は自分の言葉を明らかにするためにここにいます。」彼がそうであったように、彼は今もそうです。彼はそうするだろうと言った。ああ、何と、その先生が來て、彼は私たちを呼んでいます。

ここに座っている多くの病気の人は間違いなく、医者はあるに希望はないとあなたに言いました。多分あなたの医者が言ったかもしれません....大丈夫です、しかし覚えておいてください、先生(主)が来てあなたを呼びました。

61 そしていつの日か、先生(主)が来て、子羊の命の書に書かれているすべての名前を呼び求めるでしょう。あなたのものがそこにはない場合は、今すぐそこに置いてください。彼は来て呼ばれるからです。墓にいる者でさえ、彼の声を聞いて生き返るでしょう。先生が来てあなたを呼びます

そして、彼が今日呼びかけている間、答えてその日の準備をすることが、あなたへの私のアドバイスです。この時代の約束、彼はここにいると約束しました。彼がしたこと、彼は再びするでしょう。そして今、再び、先生(主)が来て、あなたを呼びます。

62 頭を下げましょう。ここにはあと6ページほどありますが、今はそこにたどり着けません。頭を下げましょう。私はあなたを早く出すことを約束しました、そしてそれはすでに四分の一後です。

主よ、天のお父様、私が言ったこれらすべてのことを再び起こさせてください。「イエスが来て、あなたを呼び求めます。彼が来るとき、彼は何をしますか？ 彼は呼びます。」主よ、それを再び起こさせてください。今夜、あなたの聖霊が御霊の形で主イエスの中に来させてください。

今夜彼に来て、彼自身を明らかにし、そして彼自身を明らかにさせてください。それらの人々のように、彼らがどのように信じたか、私たちも信じるでしょう、主よ。ここにはたくさんの方がいるかもしれませんが、この機会がなかったのかもしれませんが。イエスの御名によって神の栄光を求めているので、今夜もあなたが彼らにそれを与えてくださることを祈ります。アーメン。

63 [ブラナム兄弟がピアニストに話しかける]それです、姉妹。それを続けてください。それで結構です。すぐに行ってください。ああ...皆さん、本当に静かにしてください。

彼が来たか信じていますか？ 彼は持っています。彼が来るとき、彼はまだ呼ぶのですか？ さて、もしあなたがただ信じるなら、あなたがただ神の言葉を信じるなら、神はそれを与えてくださいます。

さて、見てください。ここに祈りの列を呼ぶ時間がありません。主が喜んでくださるなら、今夜そこに電話するつもりです。

しかし、先生(主)が来ました。彼は終わりの時に彼の言葉を成就するために来ました。そして、彼がその時何であったか、それが今日なのです。彼はまだ神の言葉であるため、彼の現れ、または識別は、今日なのです。あなたはそれを信じますか？ そして、神のことばは、その時のやり方で、心の考えや意図を見分けることができます。いつものように、彼は今でも同じです。もし彼が今それをするなら、あなたは彼を信じますか？ それはあなたに彼を信じさせますか？

あなた方は今ここにいます....最初に見てみましょう、そして私が知っている誰かがこのどこかに座っているかどうか見てみましょう。

64 私を知らないこの辺りのすべては、手を挙げてください。私はあなたについて何も知らないことを知ってください、あなたの席で、あなたの手を上げてください。みなさんだと思います。大丈夫です。

今、あなたは信じています。あなたは心から信じています。今、信仰を持ってください。神を信じなさい。本当に静かにしていただきたいと思います。座ってください。かき回さないでください、しないでください。ほら、あなたは魂、体、そして霊です。あなたの霊....今、聖霊は本当に静かな動きをするのです。

65 何年も前に、聖霊が私がここに来たときにあなたに言ったことを覚えている人はどれくらいいますか.... 私が人々を手を取るとき、彼はこの識別が来ると私に言いました、そしてそれは続くでしょう、覚えていますか？ 覚えていますか？ しかし、彼は「人々にあなたを信じさせることができれば.....」と言いました。何年前のその日を覚えていますか？ あなたは信じなければなりません。

私は男を見ました、私はそれがそこに座って、他の会合でここにいたと思います。そして聖霊....私は説教している間彼を見ていました。彼は足が不自由な人でした。彼は腕に杖を持っていた。そして、私が電話をかけ始めたちょうどその時、サタンがその男にやって来ました一黒い影。そして、私は自分の目でそれを見ました。彼は起き上がって出て行った。彼はいつも不自由になるでしょう、見てください。そして、彼が彼を倒した場所はまさにそこにありました。もし彼がただ...ほら。しかし、ただ....理由はわかりません。彼は敵の

言うことを聞いただけだと思います。しかし、あなたが立ってそれらの影を見て、それらのものと形、それらがどのようであるかを見て、そしてそれらがどのように行われるかを見るとしたら、それはそうなるでしょう....

66 さて、私は癒せません。彼があなたを癒すことができるとあなたに言う人、彼は間違っています。あなたはすでに癒されています。しかし、それはイエス・キリストのご臨在を認めているのです。さて、マルタが再び彼に会うことができれば、彼が顕現された言葉であったので彼女は彼女の欲望を得るだろうと知っていたなら、今夜、私たちは彼を信じることをそれほど信じることはできませんか？ もちろん、そうすべきです。彼は来ました。彼は来た。彼は聖霊の形でやって来ました。それが彼です。

今、あなたはただ祈るだけです。ほら、ここまで、誰かが私のそばに立っていました、あなたはただ...祈ってください。ほら、たくさんの方が祈っています。それは建物のいたるところにあります。あなたはそれを見なければなりません。できません....「ブラナム兄弟....」と言ってください。いいえ。私はそれをする事ができませんでした、あなたが私に夢を見る事ができる以上のことはありません、ほら。あなたはあなたを思うかもしれません....私があなたに私の夢を夢見てもらう事ができれば、あなたはそれを信じるでしょう。しかし、自分でそれを行う事はできません。「ブラナム兄弟、私はあなたの夢を今から夢見る」とは言えません。いいえ、できません。どちらも私は幻を見る事ができません。あなたに夢を与える人は、それをしなければならぬのです。幻の場合と同じなのです。

67 私はこの列の終わりに関節炎の男性が座っているのが見えます。彼が心から信じるなら、神は彼の関節炎を癒してください。あなたは彼がそれをするだろうと信じています、先生、そこに座って、列の終わりに座っているメキシコ人の男？ 信じられますか？ その後、大丈夫です。

あなたの隣に座っている女性は、関節炎も患っています。あなたは神があなたを癒してくれると信じていますか？ (これはリバウンドしましたか？ 人々はそれを聞いていないのではないかと思います。)あなたはそうしますか？ 大丈夫です。彼女のそばに座っている他の小さなメキシコ人女性はどうですか？ 彼女は胃のトラブルに苦しんでいます。あなたは神があなたの胃を癒すと信じていますか？ 彼女はそれを手に入れました。あなたがその光が消えるのを見ると、それはそれが起こることを意味します。それは彼女を襲った。ここでは[テープの片面の端]の周りをぐるぐる回っていました。それはそれをします、見てください。彼が信仰を見つけることができたとき、見てください....彼らの不信仰のために彼ができなかった多くのこと。

68 ここに座って祈っている女性がいます。彼女は怖がっているのです。彼女はそうあるべきです。彼女は癌性の状態にあり、本当にひどい状態です。私はあなたを知りませんが、神はあなたを知っています。あなたは神がこの癌、または何かまたは他のことについて私に話すことができると信じますか？ 私を見てください。とても多くの方が祈っています。ただ見たいだけです。ここを見てください。さて、あなたはここから来たものではありません。これはあなたの家ではありません。あなたはカリフォルニア州ポータービルという場所から来ました。あなたは神があなたが誰であるかを私に言うことができると信じていますか？ あなたの名前はウィンサム夫人です。そうです。さて、信じてください。癌はあなたを去ります。もしあなたが信じる事ができるなら—それが神があなたにするように求められているすべてです—あなたが信じる事ができるなら。あなたはそれを心から信じますか？

このこのセクションの誰か、信じられませんか？ マスターが来てあなたを呼びました 彼はあなたを死から生へ、病気から健康へと呼びました。

69 ここに座って、頭を下げて祈っている男性がいます。彼は本当に自分のために祈っていません。彼は他の誰かについて祈っています。それは女の子です。それは彼の娘です。信じますか？ 足に問題があり、膝に問題があります。そうです。拭く必要はありません。それはあなたのそばにいる彼です。あなたの娘は病院にいますね。結核の場合。あなたは信じています。信じますか？ 先生が来て、あなたを呼びます。あなたはあなたの娘のためにそれを信じますか？ あなたはそうしますか？ 彼は今夜彼女とあなたを訪ねます。それが終わりますように。

ここに小さな男の子、小さな茶色の顔の男の子がいます。彼は皮膚病と喘息に苦しんでいます—メキシコの小さな男の子。彼はここから来たものではありません。彼はサンノゼ出身です。息子、信じますか？ もう一つ、あなたのお父さんはあなたとここにいます。彼はミニスターです。そうです。神があなたの名前を教えてくださいと信じていますか？ それはあなたを信じさせますか、本当に強いのですか？ あなたの名前はルーベンです。今信じてください。

先生(主)が来られました、そして彼はあなたを呼びます。ああ罪人！ 病気の人！ 信者の間で、主が人

間の中に現れているのを見ませんか？ 彼は信じている子供たちを健康に呼びに来ました。彼は罪人に悔い改めを呼びに来ました。背教者、教会員、主が来て、あなたを呼びます。

70 信じますか？ あなたは今、あなたの必要のために彼を信じますか？ もしそうなら、手を挙げて「私は自分の必要を信じている」と言ってください。それから今、あなたの足で立ち上がって、それを受け入れてください。先生(主)が来て、彼はあなたを呼びます。そして、あなたが誰であれ、あなたが必要としているものが何であれ、先生(主)が来て、彼はあなたを呼び求めます。彼は昨日も今日もそしていつまでも変わることがありません。

その小さな女性は街に行って、「何が悪いのか教えてくれた男性に会いに来てください」と言いました。あなたはその街に行かなかつた。あなたは来てそれを自分で見ました。それで主人が来てあなたを呼び求めます 手を挙げて、彼をほめたたえ、こう言いなさい。「主イエスよ、私は罪人です。許して。私は背教者です。主よ、私を取り戻してください。聖霊が必要です。私を満たしてください。私は病気です。私を癒してください。私は不自由です。私を元気にしてください。」先生(主)が来てあなたを呼びます 今、手を挙げて、彼を賛美しなさい。

71 信じますか？

私は彼を賛美します、私は彼を賛美します、

ああ、殺された罪人のために子羊をほめたたえよ。

あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

あなたは彼を愛していますか？ さて、あなたは彼がここにいる間に彼に歌うのが好きではありませんか？ 彼は建物の中を動き回る霊です。彼はあなたの心を知っています。彼はあなたのことをすべて知っています。心を込めて歌いましょう。

私は彼を賛美します(あなたが

私は(今はただ彼を賛美します)彼を賛美します、

ああ、殺された罪人のために子羊をほめたたえよ。

ああ、あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

車椅子のおばあさん、もしあなたがただそこにいる主を信じるなら……。

私は...(もう一度試してみてください、傾いています

何かに。)

私は彼を賛美します、私は彼を賛美します、

ああ、殺された罪人のために子羊をほめたたえよ。

あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

さて、それをもう一度歌っている間、振り返って、歌っている間誰かの手を握ってください。「私は彼を賛美します」と歌います。さあ、今一緒に。

私は彼を賛美します、私は彼を賛美します、

殺された罪人のために子羊をたたえなさい。

あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

72 ああ、罪人の友よ、あなたは今ここまで歩いてみませんか？ 立ち上がって、あなたがたすべての人々よ、彼を賛美しなさい。聖徒が御霊の中で崇拜している間、彼の前で彼を救い主として告白したいすべてのあなたがたの人々。ここに来て、立ってこう言いませんか。「今夜、証言したい。私は彼を称賛したいと思います。来たいです。私は彼を恥じていません。彼がいる間、私が彼を私の救い主として受け入れることを世界に知ってもらいたいのです。」歌いながら来てください。

私は彼を賛美します(あなたは来ませんか?)

私は彼をたたえます、

ああ、殺された罪人のために子羊をほめたたえよ。

あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

73 ああ、それは女性です。さあ。他に誰がキリストの前に来るのでしょうか？ ここに来て、姉妹、ここに立ってください。恥ずかしがらずに、彼が今あなたの救い主であることを望んでいる他の人。彼は「もしあなたが人の前でわたしを恥じているなら、わたしの父と聖なる天使たちの前であなたを恥じるだろう」と言った。あなたが今彼を恥じておらず、彼がここにいる間、あなたが彼をあなたの救い主のために望んでいるなら、彼はあなたを見ている。それはとても完璧です。御言葉自体は、それを知らせるために、聖徒が崇拜している間に現れます。出てこないの？ 神はあなたを祝福します、先生。ここに老婦人がやって来て、素晴らしい時代を迎えます。今来ませんか？

私は彼を賛美します(今それを歌います)私は

彼をたたえます(そうです、若い人たち、

すぐに来てください。)

賛美(神はあなたを祝福します、女性。それは

それを行う方法。神はあなたを祝福します、若い

男。)...罪人は殺されました。

あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

牧師たちが今これらの人々のところに行く間、他の誰かが来ませんか？ 背教者のかた、来られますか？ 「自分の人生を恥じている」と言います。ここに彼はいます。私が神の僕であると信じているなら、手を挙げてください。なぜ、イエス・キリストは私たちの真ん中にいます。来ませんか？

彼に栄光を与えなさい(あなたは与えに来ませんか

彼の栄光?)...あなたがたの人々

彼の血が洗い流されたからです。

74 マルタ、あなたは来ますか、それともマリアと一緒に家に座るのですか？ キリストが顕現されたとき、あなたはある組織に戻って、「ああ、私の教会はそれをこのように信じていない」と言うつもりですか？ あなたは座ってそれを言うつもりですか？ それとも出てきますか？ 「まあ、私はあなたに言う、いつ....」

「今日呼びました。」これがその時です。ヤイロの娘のように、死はあなたの周りにぶら下がっています。今来てください。背教者、今来てください。罪人、今来なさい。今がその時です。

先生(主)が来ました、そして彼はあなたを呼びます。彼はあなたを呼んでいます。あなたは「どうやって知るの?」と言います。彼は私の声を使っています。もし彼が私の声を使って病氣、苦痛、物事を告げるなら、彼が罪も求めているのを知らないのですか？ 出てきなさい。今来てください。これはあなたがこれまでに

持つ最後の機会かもしれません。

75 もう一度、彼はあなたを呼んでいます(召しているのです)。友の皆さん、あなたは来るべきです。私はあなたに恥じ入らせたくはありません、あなたをこのように呼びかけます。そうではありません。あなた....時々、多分...彼らパリサイ人は彼らが救われたと思ったが、そうではなかった。あなたは同じことを考えています。今すぐ来てください。いいえ、中途半端なチャンスをとらないでください。あなたの心に疑いがあるならば、チャンスをとらないでください。今出てきなさい。今がその時です。今、噴水が開いている間、聖霊がここにいる間です。マスターが来ましたしかし、疑わないでください、彼があなたに伝えようとしていることを、あなたは疑っています。それをあきらめなさい。さあさあ。先生(主)が来て、あなたを呼びます。そうです。

私は彼を賛美します、私は彼を賛美します、

(あなたは彼をほめたたえに来ませんか?)

殺された罪人のために子羊をたたえなさい。

ああ、あなたがたすべての人々に彼に栄光を与えなさい、

彼の血がそれぞれの汚れを洗い流したからです。

さて、罪人が彼を要求するために来ている間、人々に同時に彼を賛美させてください。あなたの手で上がってください。一緒に賛美を歌ってください。

私は彼を賛美します、私は彼を賛美します、

殺された罪人のために子羊をたたえなさい。

ただ彼をほめたたえよ、ここにいる人々は祈っています。彼にあなたを許すように頼みなさい。それが彼がすることです。先生(主)が来て、あなたを呼びます(召されるのです)。神はあなたを祝福します。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7